#2150

2026.06.11

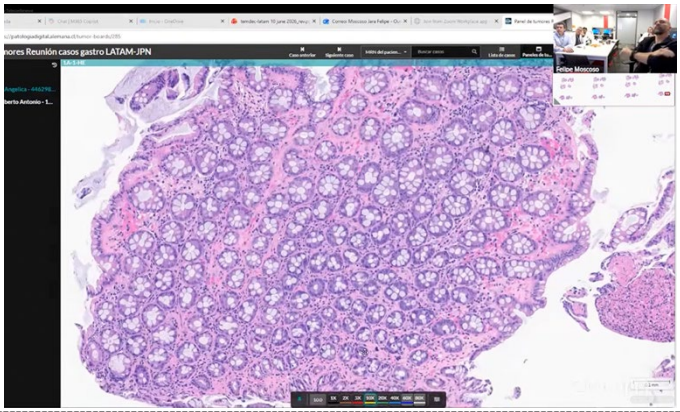
第39回 ラテンアメリカテレカンファレンス

【参 加 施 設】	【概 要】
九州大学病院(日本), コスタリカ ガストロクリニカ(コスタリカ), 大阪国際がんセンター, 近畿大学, 福岡大学筑紫病院, 川西市立総合医療センター, 富士フイルム 東京ミッドタウン本社(以上日本), ノッサ・セニョーラ・ダス・グラッサス病院, バレトス アモール病院, ブラジル 杉沢総合病(以上ブラジル), アレマナ病院, チリ大学, アントファガスタ病院(以上チリ), ボリビア・日本消化器センター（ボリビア), サルバドール・スビラン国立医学・栄養科学研究所(メキシコ), 他 10 施設	チリのアレマナ病院から2件の症例発表があった。1件はCDH1遺伝子変異と顕著ながんの家族歴がある患者の、胃の早期印環細胞癌の管理について、もう1件は肺がんと大腸炎の患者の困難な診断について議論した。どちらの症例も内視鏡画像と病理画像が示され、病理医から有益なアドバイスがあった。接続した全員が、症例提示後のライブ投票と議論に参加した。



モニタに表示される接続施設

撮影場所：九州大学病院



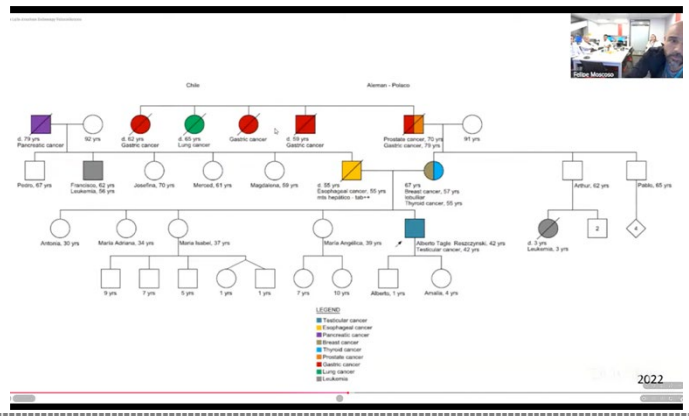
提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



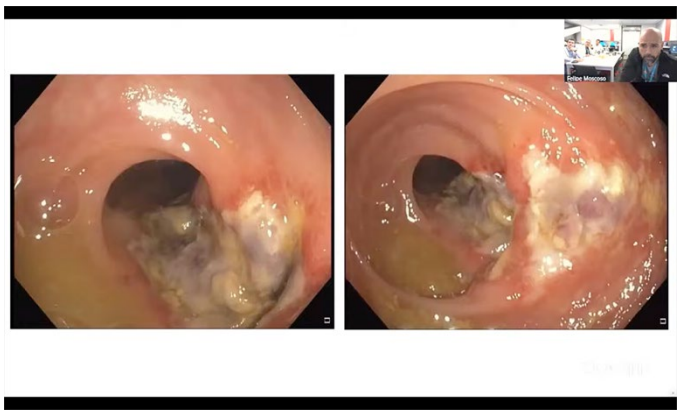
提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド

撮影場所：九州大学病院